

広報課便り



▼「新美南吉の作文指導から学ぶ―新美先生と作文帳―」はいかがでしたか。執筆者の松川先生は、「新美先生が、若くして亡くなられてからかなりの月日が流れたが、この作文指導は今の時代の教育にきつと通じるものがある。」と話されていました。電話の向こうから聞こえる松川先生の言葉が、なぜか新美南吉の赤ペン添削のように、わたしには感じました。人に何かを伝えるために、自分が発する言葉を磨いていくことは、あらためて難しいことだと強く感じました。松川先生、ありがとうございます。また、インタビュにに応じていただいた加藤さん、本城さんに厚くお礼申し上げます。

▼今回から「連載 国語学習を情報教育の視点でとらえる」にて、情報活用力を育てる実践事例を紹介していきます。執筆は、金沢大学の中川一史助教授が主宰される「国語と情報教育研究プロジェクト」に参加されている先生方が担当します。「国語と情報教育研究プロジェクト」の実践事例は、平成十七年度版別冊指導書「情報活用力を育てる実践事例集」メディアを活用した国語の授業」にも掲載されています。くわしくは、光村図書ホームページ「光村チャンネル」をご覧ください。

▼前号の特集「座談会 しつかり身につけたい読む力」の中で、秋田大学教授の阿部昇先生を「助教授」としてご紹介しましたが、「教授」の誤りです。この場を借りまして訂正し、謹んでお詫びいたします。

お知らせ



【研究会のご案内】

第52回 小学校教育研究発表会

開催日 平成十七年五月三十一日(火)

会場 愛知教育大附属名古屋小学校

テーマ 今「教科力(教科で大切にしたい力)」を考える

教科力を発揮することができる子どもの育成(最終年次)教科力を発揮させることができる指導方法の確立

内容 公開授業(各教科 総合的な学習の時間、帰国児童教育)、研究発表協議会(各教科、帰国児童教育)

講演 「今求められる教科指導のあり方」(仮題)

早稲田大学教授 安藤忠彦

連絡先 愛知教育大附属名古屋小学校

〒四六・〇〇四七 愛知県名古屋市中区大幸一・二二四

TEL 〇五二(七二二) 四六・一六

FAX 〇五二(七二二) 三九六〇

<http://www.np.aichi-edu.ac.jp/>

光村図書のホームページ「光村チャンネル」では、全国の研究会の日程や内容を随時ご紹介しています。

<http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>